

海の幸を育む

山に緑を



団体紹介

すし業界の発展を図ることを目的とし、昭和43年に設立。現在県下に11支部をもち、組合員が加盟している、山形県内のすし商経営者の団体です。

活動内容

日本海塩害の松くい虫や塩害被害に心を痛めたのがきっかけでした。鳥海山の豊かな伏流水が栄養豊富な水を供給することで、庄内の岩ガキや魚介類がおいしく育まれる。近海の魚介類を使って提供する寿司は、後世へと引き継ぎたい大切な食文化の遺産と思い、県や地元森林組合、地元小学生の協力を得て、各地で2,900本以上の植樹と、捕植、下刈活動を行っております。



活動の感想

地道な活動ですが、「海の幸」の保護育成はもちろんのこと、世界中で地域温暖化の問題が深刻な現在、二酸化炭素削減に少しでも繋がればと思います。今年度は、多くの取引業者様や、各店舗のお客様にも参加していただき、組合員と共に第1回植樹地遊佐町吹浦地区の下刈と捕植を行いました。好天に恵まれて、木々の成長を見ると共に、子供たちと植樹をした時のことを思い出し、感慨深いものとなりました。今後も森や海に感謝するとともに、後世に豊かな自然を残していけたらと思います。



山形県鮎商生活衛生同業組合